



史蹟史料部

2022年1月10日

#1

日本人墓地公園 ニュースレター

皆様のご寄付に感謝申し上げます

2021年も多くの方に日本人墓地公園へのご寄付を賜りましたことを感謝申し上げます。皆様のご寄付により、日本人墓地公園の修繕・維持・管理に役立たせて頂いております。

墓地公園内のフラワーアーチには色鮮やかなブーゲンビリアが年に3回ほど満開になり、地元の人々には写真撮影スポットとして人気があります。ぜひお出かけ下さい。

※日曜日・祝日は会員のみ予約制となっております。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

[シンガポール日本人会 | 日本人墓地公園 \(jas.org.sg\)](http://jas.org.sg)



日本人墓地公園のご案内 - ひのもと地蔵尊

日本人墓地公園の門をくぐると、すぐ左手にお地蔵様が並んでいます。

1945年8月太平洋戦争が終わると、シンガポールに在住していた日本人（約8,000人）はジュロン・キャンプを作って避難し、帰還船を待ちました。

第一次、第二次帰還船が去った後、残された婦人たちの不安と不満はつのが、野菜不足などから病気や病死者が相次ぎ、自ら命を絶つ人も出ました。ジュロン・キャンプで亡くなった人は41人を数えました。

後年、その人たちの冥福を祈るため、カトンにあった日本料亭の女将・今井小静が発起人となり、日本人墓地の入口に「ひのもと地蔵」が建てられました。

このお地蔵様にはシンガポールに住む日本人女性の安産とその子供を見守るという願いも込められています。

出典：墓地設置サインボード



お地蔵様の赤い前掛けは、シンガポール人のボランティアの方が毎年手作りして下さっています。毎年3月に行われる慰霊祭の前に新しい前掛けに衣替えをしています。

